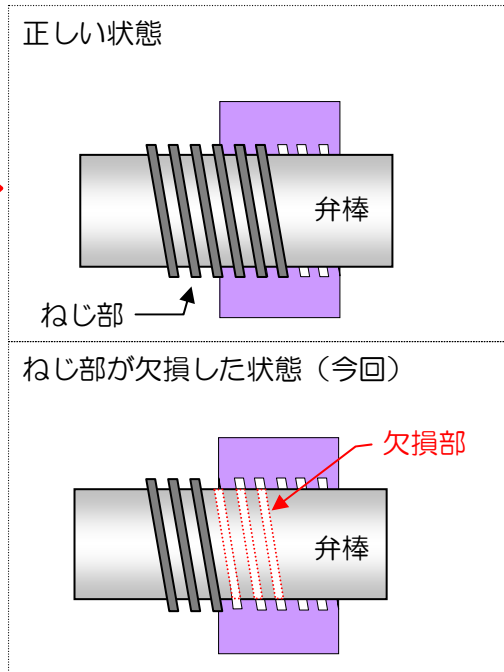
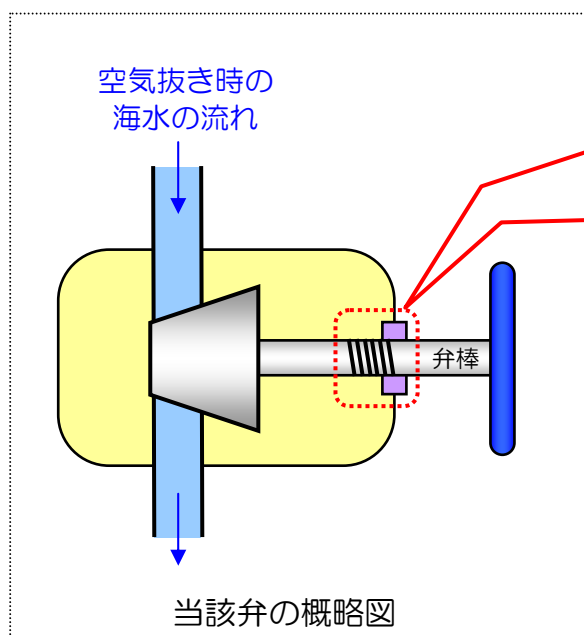
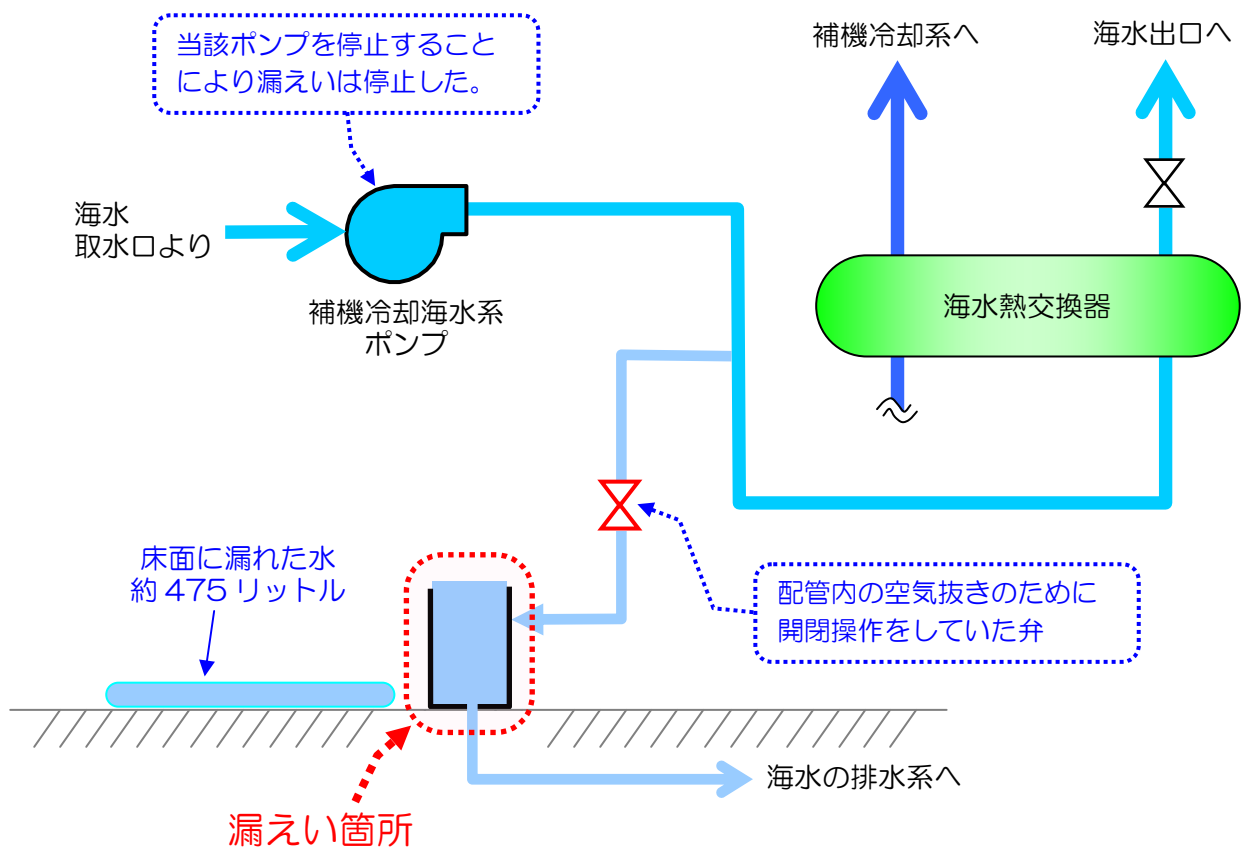


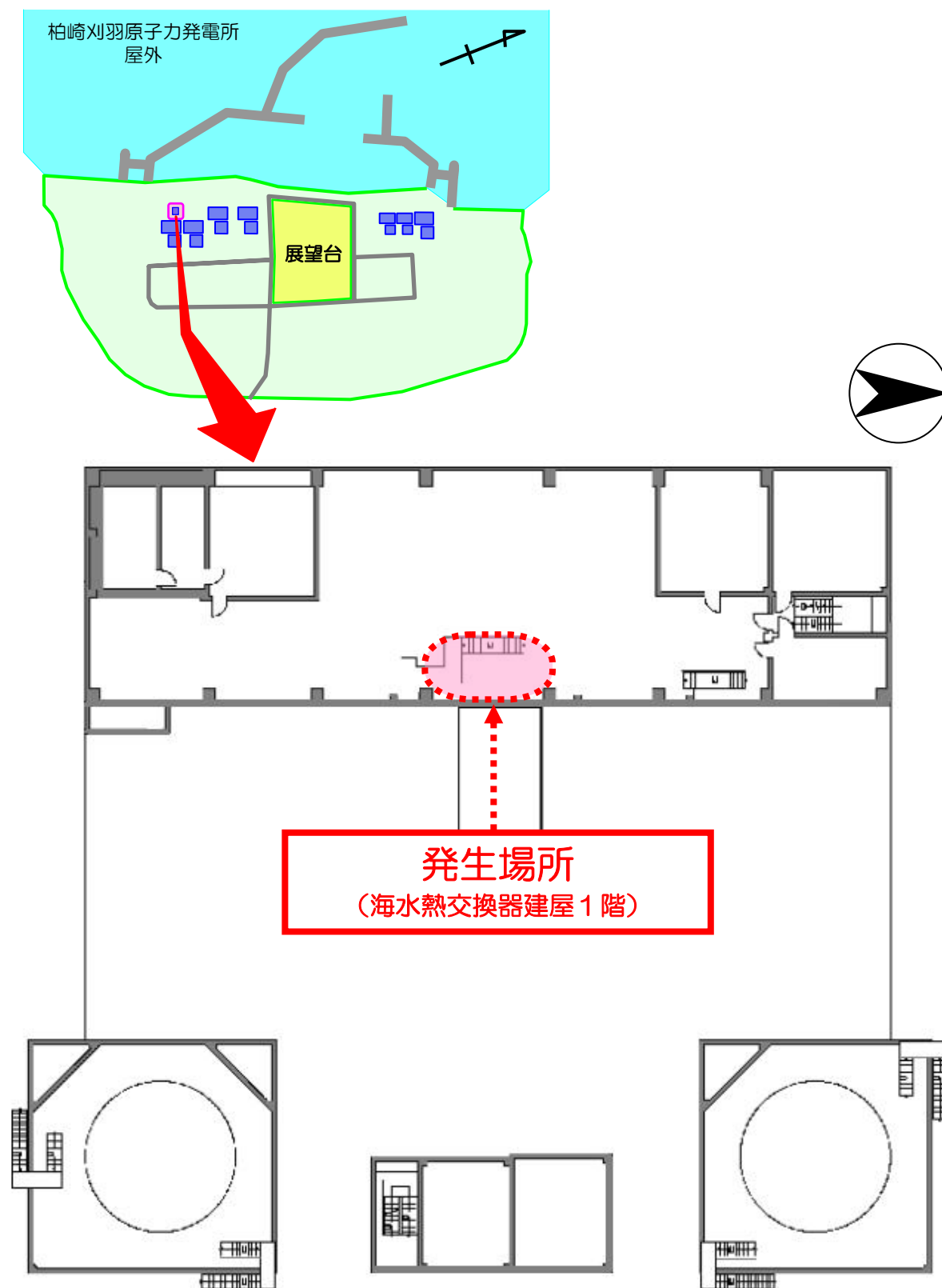
区分：Ⅲ

号機	1号機	
件名	海水熱交換器建屋（非管理区域）における水漏れについて	
不適合の概要	<p>（事象の発生状況）</p> <p>定期検査中の1号機において、平成23年9月2日午後2時55分頃、当社社員が、海水熱交換器建屋1階の補機冷却海水系*ポンプ（B系）室（非管理区域）で、同系統の水張り作業の一貫として補機冷却海水系ポンプ（B系）を起動し、空気抜き用配管につながる弁を手動で操作して配管内の空気を抜く作業を行っていたところ、当該弁が何らかの要因により閉まらなくなり、空気抜き配管を通じて海水が排水口からあふれて、ポンプ室内床面に溜まりました。</p> <p>排水口からあふれ出た海水の量は、約475リットルでした。</p> <p>このため、ただちに補機冷却海水系ポンプ（B系）を停止し、配管内の圧力を下げたことにより、海水の漏えいは停止しました。</p> <p>（安全性、外部への影響）</p> <p>本事象により漏えいした海水は放射性物質を含んでおらず、また、海水は同室内にとどまっていることから、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>* 補機冷却海水系 原子炉建屋やタービン建屋の空調や常用系の補機類の冷却水を海水によって冷却する系統。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / (その他設備)</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>床面に漏れた水は、当日、拭き取りによる清掃を実施しました。</p> <p>当該弁を分解点検した結果、操作の過程で弁棒のねじ部が欠損したことにより、弁棒が空回りしたことがわかりました。このことから故障した弁の取り替えを実施しました。</p>	



柏崎刈羽原子力発電所 1 号機
補機冷却海水系ポンプ (B系) 室 (非管理区域)
水漏れ状況概略図

1号機海水熱交換器建屋（非管理区域）における水漏れについて



柏崎刈羽原子力発電所1号機 海水熱交換器建屋 1階